

被爆70年記念 特別市民セミナー

核テロは 防げるか ：核の密輸問題と不拡散

現在の不安定な世界情勢を考えると、「もし核を使ったテロが発生したら…」という不安を抱く人がいても不思議ではありません。核兵器の製造に使われる核分裂性物質や関連技術は、いくつもの国際条約により、厳重に規制されています。しかし、それにもかかわらず、核物質や技術を密かに取引する「核の闇市場」のうわさは絶えません。果たしてその現状はどうなっているのか、核物質や技術の不法な流出は防止できるのか、国際的な専門家の意見を直接聞くことのできる貴重な機会です。

入場無料・事前申込不要

2016年
1月8日[金]
18:30~20:00

会場 / 長崎歴史文化博物館1階ホール

長崎市立山1丁目1-1 長崎県営バス「歴史文化博物館」バス停車



講師

エレナ・ソコヴァ 教授

ジェームズ・マーティン不拡散研究センター副所長

モスクワ州立大学およびモントレー国際大学で修士号を取得。ロシア外務省勤務、ジェームズ・マーティン不拡散研究センターCIS 不拡散プログラム代表、ウィーン軍縮・不拡散センター(VCDNP)センター長を経て現職。専門分野は、ロシアを含む旧ソ連圏における不拡散問題、核および放射性物質の非合法取引、核物質セキュリティ、核燃料サイクル、不拡散教育及びトレーニング。

主催：核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)

共催：長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

お問い合わせ：核兵器廃絶長崎連絡協議会 事務局

〒852-8521 長崎市文教町1-14

Tel. 095-819-2252 / Fax. 095-819-2165

